

事業所名 児童デイサービスさんこま(放課後等デイサービス)

利用児童数 35

回収数 23

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	分らない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	23	0	0	0	・様子を聞いていて伸び伸びしている様だから。	広い敷地と馬のいる環境を活かし、子どもたちが心身ともに解放される活動スペースの質を今後も維持・向上させます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	20	2	0	1	・春から心配です。	新年度に向けた安定的な職員配置計画を早期に確定させ、支援の質を落とさない体制構築を徹底します。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境(※1)になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	8	1	1	・トイレがもう1つあっても良いかも。 ・構造化された環境にはなっているが、バリアフリー化にはなっていないと思う。	施設構造上、即時の増設は困難ですが、中長期的な改修計画を検討します。現状はスタッフによる介助や移動補助等の運用面で安全と利便性を確保します。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16	6	0	1	・猫アレルギーなどの配慮がしてあるなどの工夫がされている。 ・施設の特性上仕方ない事ではありますが、虫さされの回数が多くなります。	アレルギー対策を継続するとともに、牧場という自然環境下での虫対策(草刈りの徹底、防虫剤の適切な使用、通院判断の迅速化)を一層強化します。
適切な支援の提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21	2	0	0	・誰に相談してもきちんと聞いてくれてありがたいと思っている。	どの職員でも丁寧な傾聴と状況把握ができるよう、ケース会議等を通じた情報共有の精度をさらに高めていきます。
	6 事業所が公表している支援プログラム(※2)は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	23	0	0	0		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)(※3)が作成されていると思いますか。	23	0	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	22	0	0	1		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21	2	0	0		
	10 事業所の活動プログラム(※4)が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	22	1	0	0		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	8	8	1	6		
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	21	1	0	1	・様々な活動があって飽きない。むしろ新しい物はばかりですこい。	馬との触れ合いを軸とした三陸駒舎独自の多様なプログラム開発を継続し、子どもたちの興味・関心の幅を広げる支援を行います。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	21	1	0	1		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(※5)等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	23	0	0	0	・聴く連絡帳で、何をしたか活動した事を聴けて良いと思っている。	音声や詳細な記録を用いた「聴く連絡帳」の運用を継続し、現場の躍動感が伝わる情報提供に努めます。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	20	3	0	0	・送迎で会った時、いつも声をかけてもらっている。とても良いと思っている。	送迎時は保護者の皆様との重要な接点と捉え、日々の細かな変化や成長をリアルタイムで共有する対面コミュニケーションを重視し続けます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19	2	0	1		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	22	0	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	16	3	0	3	・姉もイベントに参加させてもらって、とても楽しく過ごしているようで嬉しい。	きょうだい児も含めた家族全体の支援を重視し、家族交流イベントや多世代が関わる機会を今後も積極的に企画します。
	19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21	1	0	0		
	20 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20	2	0	0		

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	21	1	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19	2	0	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	7	0	4		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8	8	0	6	・見たことがないのでわからない。しかし、自分達が避難した時に、来ていいですよと声かけされて安心した事がある。	避難訓練の実施結果を、実施後に通信等を用いて保護者の皆様へ可視化・報告するプロセスを確立し、さらなる安心感の醸成に努めます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17	4	0	1		
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21	0	0	1		
	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	22	0	0	0		
満足度	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	20	2	0	0	・ものすごく行きたいと言っている。	馬との関わりを通じた「行きたい」という意欲を尊重し、子ども一人ひとりの安心感と自己肯定感に繋がる場づくりを継続します。
	29	事業所の支援に満足していますか。	22	0	0	0		

※1「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、子ども本人がこの部屋で何をするのがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。

※2「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。

※3「放課後等デイサービス計画(個別支援計画)」は、放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。

※4「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの発達の状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※5「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの障害の特性やその特性を踏まえた子どもへの関わり方を学ぶことにより、子どもの行動変容することを目標とします。